

会議報告書(要旨)

- 会議名 令和4年度 第1回日向市総合体育館整備市民検討委員会
- 日時 令和5年3月20日(月) 9:00~10:30
- 会場 日向市役所4階 委員会1~2
- 主催 資産経営課
- 出席者 市民検討委員会委員(12名、欠席7名)、事務局(6名)

【会次第】

- 1 開会
- 2 日向市総合体育館整備について
 - (1) 検討経過について 【資料1】
 - (2) 基本計画図について 【資料2】
- 3 その他
 - (1) 今後のスケジュールについて 【資料3】

【主な意見(要旨)】

2 日向市総合体育館整備について

(1) 検討経過について

【委員】 体育館は中長期的な避難場所であるが、十分なプライバシーが保たれるスペースはあるのか。

【事務局】 収容人数の算定における3.5㎡については、災害時に避難をする際の一人当りの基準面積となっています。なお、その中において室内におけるレイアウト(間仕切り等)やプライバシーが保たれる物については、今後、より具体的に協議を行っていきます。

【委員長】 避難所の基準で一人あたり、畳2畳分のスペースがあればというところですが、さらに広いスペースとして確保されているようです。

【委員】 CMR(コンストラクション・マネージャー)の方が総括的に設計者と施工者のマネジメントを行うということで、資料に受注者が記載されていますが、この受注者がCMRに相当する方なのか。

【事務局】 事業者選定支援業務(CMR)を受注している事業者です。今後、設計段階においてもCMRを活用していくこととしております。

【委員長】 新しい性能方式というところで、総合体育館の整備を行うというところで安心して進めていける体制づくりとなっているようです。

【委員】 2月に市民再説明会を開催されましたが、どのようなご意見がありましたか。

【事務局】 市民再説明会を2日開催し、22名の方に参加をいただきました。その中でのご意見については、完成後の維持管理や補助金に関する内容等のご意見をいただきました。

(2) 基本計画図について

【委員】 トイレは、車イスやバギーが入るスペース、市役所4階にある広さと同じものができるのか。

【事務局】 今回の基本計画図の中では、各階に2箇所ずつ設けるようにしています。

【委員長】 最近は多様な参加、ダイバーシティということで、災害時においても大変重要な機能を持っています。

【委員】 図面ではバスケットのラインが書かれていますが、この他の競技についてもラインが入ってきますか。

【事務局】 それぞれの競技のラインについては、全てを表示する場合とポイントを表示する方法等があります。設置については、スムーズに競技が行える体制ができるよう検討してまいります。

【委員長】 いろんな競技がありますので、競技に支障の無いように進めていただけたらと思います。この委員会の中でワークショップを行い、付箋にて意見をあげてもらいましたが、分類整理したものを土台としたところですが、皆様のご意見が全部反映するのかわかりませんが、いろんなかたちでうまく反映していただいたようです。若干のレイアウト変更はありますが、概ね基本計画どおりとなっているようです。今後の設計施工一括発注につなげていただけたらと思います。

【委員】 関連ですが、ラインを引かずポイントだけを入れる方法を含め検討してほしい。ラインがたくさんありすぎて、ラインを消すことがあるので、ラインを引かないという選択を含め、検討してほしい。

【事務局】 これから、どのようにしていくのかは、市民検討委員会を含め協議していきます。

【委員長】 大変重要なポイントでありますので、今後の基本設計や実施設計において反映していくものとなります。事務局での検討の方、よろしくお願いします。

【副委員長】 観客者の立場からするとサイドからも見たい。この場合、観客席がない場所からも見る人がいると思うがここには席を設けないのか。また、今の観客席は何列を想定していますか。

【事務局】 基本計画図におきまして、観客席の列については、3列を予定しているところです。観客席がないウォーキング・ランニングコースのエリアについては、固定された席は設けないようにしています。

【委員長】 見る方もスポーツをされる方もいい体育館となるようにと思いますが、今後の基本設計において観客の方が見やすいレイアウトに変更となる可能性はあるのか。

【事務局】 これから、事業者を決めていくのと同時に基本計画の内容に応じて図面化されますので、必ずしもこの基本計画図どりのレイアウトとなるかはわかりません。基本計画図は、敷地条件を踏まえて、必要最小限のこれだけは満たしてほしい要件としていますので、実施設計等にあたっては検討していきます。

【委員】 それぞれの観客席の列の高さは。

【事務局】 階段状に観客席を設置する内容としています。

【委員】 基本計画図の体育館は、箱形で簡単に書かれているイメージで認識していればいい

のか。屋根の形状等は。

【事務局】 形状等については、詳細な検討は行っていません。そのようなイメージとして認識してください。

【委員】 あとで、後悔するようなものを作ってほしくないので、今後、決めていく方々からの意見を伺いたい。

【事務局】 これまでの基本計画策定に至るまでにつきましては、市民検討委員会や各団体へのヒアリングを得て、ご意見を伺い現在のレイアウトとなっています。今後につきましても同様に委員会や各団体等からのご意見等を伺いながら、あとで後悔することが無いよう進めてまいります。

【委員長】 住宅づくりと一緒に、迫ってくるいろいろなオプションがついてきて、結果的にはコストが高くなっていくこととなりますが、予算内で納めていくために皆さんからお知恵をいただくことになるかと思えます。

【委員】 災害関係で2階のテラスはどのような機能となるのか。

【事務局】 炊き出し等のスペースとして考えています。

【委員】 大王谷運動公園内水泳場の代替は、学校のプールを開放するという事で間違いないですか。

【事務局】 間違いありません。令和5年度の開設が最後となりまして、運営が終わりましたら水泳場の解体工事に入っていきます。令和6年度から大王谷学園初等部の学校プールを代替プールとして使用していきます。大王谷学園初等部の学校プールは、一部のレーンで幼児が利用できる浅いレーンがあります。他3校でも同様のプールがありますので、今回の利用状況等を踏まえ施設の拡大については、検討してまいります。

【委員長】 委員会の中で、プールが無くなることにより、市全体のスポーツ機能低下が無いようにしようという意見がありました。そういったことで機能を維持していく、市全体のスポーツ推進を考えていくということで再認識したいと思えます。

【委員】 災害時に避難場所へ行くときにその配慮を日頃から考慮しないといけないと思えます。(意見)

【委員】 スポーツ時の怪我や災害時等で必要となる医務室はあるのか。

【事務局】 基本計画図において、救急車両への搬送を想定したうえで、1階に救護室を設けています。

3 その他

(1) 今後のスケジュール

【委員長】 やはり、1つの建物を考え構想し建設していくのは、本当に時間がかかるということで、体育館建設の始まりが2017年(平成29年度)から始まった訳ですが、約10年掛かりの作業であり、本委員会も4年目を迎えようやく少しはゴールが見えつつありますが、令和8年度には体育館ができて竣工となるようです。

【委員】 真の完成に至るまで、自分達はどこまでドキドキしておかなければならないのか。大丈夫なのか。

【事務局】 先週、予算が可決されましたので、総合体育館整備については、スケジュールに基

づき進めてまいります。なお、この市民検討委員会の任期は、基本設計が策定されるまでとなっていますので、これから行う基本設計については、本委員会等におきまして、いろんなご意見をいただけたらと思います。

【委員長】 いろんな議論があって必要なことと思います。この1年間でいろんな議論があり、市の方では市民説明会をもう一度開催されたり、質問については、丁寧に答えられたり、私もいろんな委員会に参加しますが、とても丁寧にまちづくりや建物建設に務められているという感想を持っています。そういった意味では、これまでのプロセスは本当に丁寧かつ具体的に行っていますので、やっかいなのは時計の針をもう一度巻き戻して1から議論をやりなおしてくださいという話になると難しくなってきます。この委員会で皆さんからご意見を出していただいたということが非常に重要でありますので、この委員会がただのセレモニーで事務局から出た資料をおさらいするだけで、意見は無いということでは困りますので、そういった意味では、本当にこれまで、ワークショップを含め、皆さんに多くの意見を出していただき集約されたものであります。市が勝手に絵を描いたものではないというところで、委員会の皆さんが、今後の推進にあたっては責任を持っていただくことが大変重要と考えます。私自身も微力ながら、そういった議論の場がありましたら説明をさせていただきたいと思います。皆さんもいろんなところでの接点があるかと思いますが、誤解等がありましたら説明していただきたいと思います。

【委員】 今の体育館は、床の損傷が激しいので、是非、早く体育館を建設してほしい。(意見)

【委員】 ぶらっとバスの回数を増やしてほしい。

【事務局】 担当課と協議を進めており、体育館の入口前まで運行してもらうようにしています。が便数等につきましては、引き続き協議となっていますので、できるだけ多くの便が運行できるよう検討してまいります。

【副委員長】 報告となりますが、2027の国スポ宮崎県開催について、まだ、確定されていない競技が2競技程ありまして、カヌーとバスケットボール(少年男女)です。このうち、バスケットボールについては、日向市開催を考えているようであり、今後の総合体育館の進捗によって協議が進められていくようです。

【委員】 自分は、体育館や武道館、サッカーのスタジアムなど現役の時に設計サイドで建築ですがエンジニアリングの担当で地震に壊れないとか大きい空間をどうやって建設するかといういろんな設計に関わってきました。このような、設計の前段階でいろんな討論が市民の方を交えて行われることに非常に感銘を受けました。微力ながら本委員会に出席したところです。建物を作るというのは、ある意味では、今からプロの方が設計を行うわけですが、今回の委員会からの意見の集約で平面図ができあがっていますが、これを覆う外構、建物、どういう形としていくのかデザイン面を含めて、いろんな意見がでてくると思います。専門家のところに我々が口を挟む余地があるのかどうかは難しいと思いますので、市の方としては、設計者等の選定よろしく願います。

【事務局】 事業者の選定について、4月からしっかりと進めてまいります。本日の意見も踏ま

え、基本設計に落とし込んでいき、また、委員の皆様に見ていただき、ご意見を反映していけたらと思いますのでよろしくお願いします。

【委員】 アリーナの入口で外からも入れるようにしてはどうか。

【事務局】 4月からの公告に向けて再整理してまいります。